

中村やすひろ通信

皆さまには、日頃より大変にお世話になり、心より感謝申し上げます。今年のノーベル医学・生理学賞が、京都大学iPS細胞研究所の山中伸弥教授らに贈られることになりました。山中教授を始め、関係者の方々の榮譽を心から祝福したいと思います。この研究は「再生医療」の切り札になると期待され、実用化が進められていくそうです。私は、この度の議会で「健康長寿」について質問をいたしました。世界有数の長寿国である日本、その中でも杉並区民の平均寿命は上位に位置しています。このような医療技術の発展・進歩が、人々の健康増進に大きく寄与していくことを、いやまして期待するものです。

2012年10月 中村 康弘



議会報告

～ 平成24年第3回定例会より ～

「健康長寿社会」に向けて施策の更なる充実を!

世界有数の長寿国である日本の中でも、杉並区民は更に長寿を誇っています。

	男性	女性
日本人の平均寿命	79.44歳 (世界で8位)	85.90歳 (世界で2位)
杉並区民の平均寿命	80.66歳 (全国自治体で12位)	87.04歳 (全国自治体で172位)

※厚生労働省が公表しているデータから、比較可能なものを抜き出しました。

一方、「健康寿命」については、65歳平均自立期間に65を足して計算する「東京保健所長会方式」によると、杉並区の現状値は男性で82.56歳、女性で85.58歳となっています。区の基本構想では、これを10年後に84歳、87歳にまで延伸させることを目標としています。

私は、これからの更なる高齢化・長寿命化の時代に、充実した高齢期を迎えるためにも、「健康寿命」という視点は非常に重要になると訴え、それを実現するために、以下の通り様々な角度から質問や提案を行いました。

元気!



- 生活習慣病予防策は、国保のレセプト(診療報酬明細書)データを活用し、定量的に分析・評価ができる、的を絞った効果的な内容に改善するべきではないか。
- がん対策は、区民の健康増進・健康寿命の延伸に避けて通れない。区は「杉並区がん対策推進計画」の策定作業を進めているところだが、がん闘う決意のみならず計画を心から期待している。
- 歯と身体全体の健康は密接につながっており、成人歯科検診や高齢者への訪問歯科診療等による口腔ケアを通して、身体の健康も保持されることを改めて強調したい。
- 特に女性に多い「骨粗しょう症」は、加齢とともに骨密度の低下により骨折し、寝たきりになることも少なくない。若い年代から骨密度の検査を行い、運動や食べ物等「骨粗しょう症」の予防の普及に努めていってはどうか。
- 生活のあり方、社会や他人とのかかわり合い、「心の健康」といったことも含めた「総合的に健全なライフスタイル」という考え方で、健康長寿社会を築いていくべきである。一人一人が健康で、長生きで、笑顔で、大満足の人生を謳歌していける社会が一段と進んでいくことを期待する。



複式簿記による「財政の見える化」を進め安定した区財政を!

今議会では、平成23年度の決算を審査する決算特別委員会も開催されました。杉並区が公会計を改革してから4回目の決算議会。これまでの公会計は、民間企業とは全く異なり「単式簿記・現金主義」という現金の流れだけを記入するものでした。これを企業会計と同じ「複式簿記」にし、資産や負債の状況を一望できるバランス・シートやコスト計算書を作成し、「財政の見える化」を進めてきました。

【杉並区・平成23年度期末単体貸借対照表(特別会計を含む)概要】

【資産の部】	
金融資産(債権・出資金・基金等)	604億円
有形・無形固定資産(土地・建物・ソフトウェア等)	4341億円
インフラ資産(道路・公園の土地・建物等)	1兆0111億円
【負債の部】	
未払金・預り金・特別区債・退職金引当金等	697億円
【純資産の部】	1兆4360億円



平成19年度末の分から杉並区は複式簿記による財務諸表を作成していますが、主な財務情報は以下のようになっています。

財務指標	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
区民一人当たりの資産	273万8千円	273万9千円	279万3千円	279万4千円	279万1千円
区民一人当たりの基金積立金	10万8千円	9万5千円	8万3千円	7万円	6万7千円
区民一人当たりの負債額	18万2千円	16万1千円	13万8千円	13万3千円	12万9千円
現世代負担比率※1	98.9%	99.4%	99.7%	99.5%	99.4%
負債比率※2	6.7%	5.9%	5.0%	4.8%	4.6%

※1(現世代負担比率)……社会資本等について、現役世代が将来に負担を残さなかった割合を見ることで、資産合計における区民の持分を把握するもの。(計算式)純資産÷非金融資産

※2(負債比率)……資産のうち返済義務が残っている部分の割合がどのくらいかを見るもの。比率が低いほど財務状態の安定度が高いと言われています。(計算式)負債÷資産合計

将来の不透明な景気動向や少子高齢化が進む中、急激な収入の落ち込みや財政需要に対処するため、減少傾向が著しい積立基金(「財政のダム」と呼んでいます)の額を早急に増やしていく必要があると指摘しました。

平成25年度予算に関する要望書を提出

杉並区議会公明党として、平成25年度予算に関して224項目にわたる要望書を田中区長に提出いたしました。その中から「木道密集地域の不燃化促進」、「災害時要援護者支援」、「若者就労支援」、「省エネ機器の普及」、「いじめ対策」、「防災教育の推進」等18項目を重点事項として要望いたしました。



PROFILE

《プロフィール》

中村 康弘(なかむら やすひろ) 昭和41年12月14日生まれ 45歳

【略歴】

和歌山市出身。創価大学法学部卒・米サンダーバード国際経営大学院国際経営学修士(MBA)
専門商社海外営業(シンガポール駐在含む)、外資系電子部品メーカー製造部長を経て、平成19年4月より杉並区議会議員(現在2期目)。

【主な役職】

公明党杉並総支部・庶務部長、杉並区議会公明党・政務調査会副会長

【委員会所属】

総務財政委員会副委員長、道路交通対策特別委員会 (平成24年10月現在)



中村やすひろ

検索

http://www.komei.or.jp/km/y_nakamura



TEL: (03)3312-2831(区議会控室) 発行: 杉並区議会議員 中村康弘

携帯電話からもアクセスできます